

上毛町学力向上推進プランによる取り組み

小・中学校長と教育委員会で「学力向上検証委員会」を組織し、各学校の学力向上の体制を充実させるために、次の4点を中心に取り組みを進めています。

教育委員会研究指定による研究発表会の実施

各学校の児童生徒の学力分析に基づき、日々の授業の中で基礎的・基本的事項の確実な定着と活用力の育成を図るとともに、児童生徒が学ぼうとする意欲を高めるために、各学校で設定した研究主題のもと研修を実施しています。そして、その研修の成果を毎年各校順番に公開し、町内教職員全体の指導力の向上を図っています。

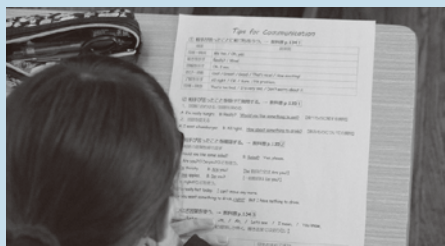


▲平成29年度友枝小学校研究発表会

上毛塾・英検塾の実施

上毛塾は学校で学んだ学習を基礎とし、さらなる学力の定着を目指し中学校3年生を対象として夏休みや土曜日に、塾の講師を招いて5教科(国語・数学・社会・理科・英語)学習を行っています。

英検塾は中学校の生徒を対象として放課後に、塾講師を招き一人ひとりの生徒が設定した実用英語技能検定(英検)5級から3級の合格を目指し学習しています。



▲上毛塾

学力向上講師の配置

学習内容を確実に身に付けるためには、子どもたちの実態に応じた指導方法や指導体制を工夫改善することが必要になってきます。学力向上講師を配置することでより効果的な指導を行うことができます。そこで、各小・中学校に本町独自の予算で、学力向上講師を配置しています。

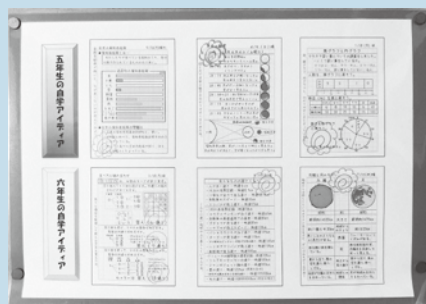


▲講師による授業風景

上毛中学校区スタンダードの実施

町内小・中学校が連携して、生活における約束や学習における約束を示した「上毛中学校区スタンダード」を設定し、保護者の協力も得ながら、生活習慣や学習習慣(家庭学習を含む)を定着させ、中1ギャップ※の解消はもとより、主体的に学習に取り組む体制づくりを行っています。

※中1ギャップとは
小学校から中学校に進級したときに、学習内容や生活リズムの変化になじむことができずにいじめが増加したり学習意欲を失い不登校になったりする現象。



▲自主学習ノート

子ども読書活動の推進

上毛町のすべての子どもが言語を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにするため、小・中学校、町立図書館、保育所(園)、読書ボランティア団体が連携した取り組みを行っており、家庭・学校・地域が一体となった子どもの読書活動の推進を図っています。



▲上毛町小中学生読書リーダー報告会

英語教育の充実

文部科学省は平成32年度から小学校で外国語活動の授業を3年生から実施し、5、6年生も教科(英語科)として授業時数も増やすことにしています。そこで本町では、昨年度より小学校1年生から週1時間「英語に親しむ活動」を実施していますが、それに加え、本年度より英語講師の人数を増やし英語教育の更なる充実を図っています。



▲ALTによる授業風景

上毛町の教育 No.1

学力向上の取り組み

上毛町では、昨年、将来像「みんなが輝くまち上毛」を掲げた第2次上毛町総合計画(2017～2026年)を策定しました。その中で、上毛町に住む人や訪れる人など、みんなが輝くまちづくりの基本目標の1番目に「子どもが輝くまちへ」子育て支援・教育の充実」を位置づけています。

子どもは町の将来を担い、活力を生み出す町の宝です。上毛町が将来にわたって元気な町であり続けるためには、子どもたちが町で元気に育つことが大切です。子どもたちが心身ともに健やかに育ち、まちづくりの中心的な役割を担っていただけるよう学校教育の充実をめざして取り組みを進めています。

現在の学校教育は、いじめや不登校、子どもは町の将来を担い、活力を生み出す町の宝です。上毛町が将来にわたって元気な町であり続けるためには、子どもたちが町で元気に育つことが大切です。子どもたちが心身ともに健やかに育ち、まちづくりの中心的な役割を担っていただけるよう学校教育の充実をめざして取り組みを進めています。

校、保護者の生活状況による学力格差や家庭の教育力の低下など、さまざまな問題に直面する中で、町の将来を担う宝である子どもたちが、たくましく生き抜いていく力を育成することが求められています。また、学校教育の水準は居住地を決める際の重要な検討項目であり、定住人口の増加や地域の活性化を考える上でも、その充実が求められています。

将来、子どもたちが夢や希望を実現するためには、小・中学校の義務教育段階で基礎となる学力や体力、基本的な生活習慣、道徳性などを身につけることが大切です。

そのために、教科指導・体験活動・言語活動など本町独自のカリキュラムの充実を図り、上毛町学

力向上推進プランによる取り組みの充実、国際交流事業との連携を含めた英語教育の充実、授業内容の理解を深めるためのICT機器を活用した教育の推進、子ども読書活動の推進、さらには、小・中学校間の連携強化などを通じて、児童・生徒の個性や才能を大きく伸ばせるような水準の高い教育の推進を図っています。

そこで、今回の「上毛町の教育No.1」では、主に町内各小・中学校における学力向上の取り組みを中心にお知らせします。

この取り組みを推進することによって、子どもたちが町で元気に育ち、夢や希望を実現できるよう学校・家庭・地域が一体となって、学力向上を目指します。

学務係 TEL 723-111(内線177)

ICT機器を活用した教育の推進

本町では、ICT機器(情報通信技術)を活用し、子どもたちにより分かりやすい教育を推進していくために、平成28年度から計画的に機器の導入を行っています。

平成30年度は電子黒板一体型スクリーン、タブレット、液晶テレビ、デジタル教科書を導入して教育環境の整備を図っています。

このようなICT機器の整備を図ることで、子どもたちの情報活用能力の育成を図り、これからの知識基盤社会に対応できる教育の質の向上を目指して取り組みを進めていきます。



▲電子黒板を使った授業風景

特集 まちづくりの現場から このコーナーは、九州一輝くまちづくりのため、町が取り組んでいる事業のプロセスや課題などを紹介するものです。 今月は、「学力向上の取り組み」にむけての特集です。